



# なばり

2018年(平成30年) 2月10日号

主な内容

- 1~3……ゆめをカタチに
- 4……農地の賃借料情報
- 5……高校生によるお点前、振る舞いなどのおもてなし
- 7……施設ご利用ガイド
- 8……美し国駅伝名張チームに応援を

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

## 中央ゆめづくり協議会

普段の生活で無理なく取り組む

## 「100円防災」

# ゆめをカタチに

よりよい地域にするために。15地域のまちづくり



①夏祭りで100円防災をPR ②100円でも災害時に役立つものはたくさん ③缶詰などでできる料理

### 在宅避難に備えて

中央ゆめづくり協議会防災防犯部会は、まちの安全・安心を担い、自分たちのまちは自分たちで守ることを目的に設立しました。部会では普段の生活に防災を取り入れる「100円防災」というものを考案しました。

これは、100円均一ショップで購入できるものを使って無理なく災害に備えようというものです。懐中電灯や笛、マスクなどをクリアケースやベストに入れていつでも取り出せるように、職場や学校のロッカー、車内に入れておくことで、もしもの時に備えることができます。

100円防災は、防災士、防災コーディネーターの資格を持つ地域の女性が、もし災害が起こったら何ができるかを考えていくうちに浮かんだアイデアです。

皆さんに知っていただくため、夏祭りや子育て広場、防災訓練などで100円防災の物品

を展示し、手軽にできる防災を広めています。

### いざというときの料理術

また、家にある限られた食材でメニューを考えるサバイバルクッキングゲームを実施しました。冷蔵庫にあるものを先に食べ、次に保存の効くものを調理していくよう考えます。

「非常食」と考えると大変です。普段から少し多めに食材・加工品を買っておき、使った分だけ買い足す(ローリングストック法)、こんな考えを方を皆さんに知ってもらいました。もしもの備えを普段の生活の中に取り入れることで、実践しやすく思います。



中央ゆめづくり協議会  
会長 福田 剛士 さん

市内にある15の地域づくり組織では、地域の将来像をまとめた地域ビジョンを実現するために、地域と市が協働で取り組むゆめづくり協働事業など、さまざまなまちづくりが行われています。今号では、各地域づくり組織が実施した事業の一部をご紹介します。

☎ 地域経営室 ☎ 63・7484

## 実践！あなたの家庭でもできる「100円防災」



A4ファイルにまとめると  
オフィスの机に入ります。

- 100円防災のポイント
- ▼ 普段の買い物で、少しずつ必要と思う物を買っていき
- ▼ すぐ持ち出せるようにまとめておく
- ▼ 100円防災の品(例)
- ・ハサミ ・マスク ・懐中電灯
- ・アルミホイル ・ポリ袋
- ・タオル ・カッターなど



防災防犯部会長  
久保田 定勝 さん

ベストのポケットに防災グッズを入れておくと防災ベストに